



交流拠点都市  
美祢市  
MINE CITY

# みね 議会だより

第49号 令和5年(2023年)12月1日発行



〔新本庁舎議場(令和5年11月6日開庁)〕

## 主な内容

- 令和5年第3回(8月)臨時会・第3回(9月)定例会 ..... 2～5
- 一般質問と答弁 ..... 6～14
- 台湾地質公園学会が表敬訪問他 ..... 15
- 議会報告会開催・12月定例会日程・編集後記 ..... 16

# 令和5年第3回(8月)臨時会

会期 8月2日(1日間)

第3回臨時会は8月2日に開会し、専決処分の承認、市長提出議案3件、議員提出意見書案1件を審議しました。

6月29日からの大雨に伴い市内の広範囲にわたり河川の氾濫や土砂災害など甚大な被害が発生し、事態に迅速に対応する必要から専決処分により追加された予算について、原案どおり承認しました。

また議会より、この度の豪雨災害に伴い、県・国に対し「防災・減災に資する河川改修を求める意見書」を提出しました。(詳細は下記のとおり)

議案の審議結果については以下をご覧ください。

## ■第3回(8月)臨時会議決結果

●は全会一致で可決(同意)

### 専決処分の承認(2件)

●一般会計補正予算(第3号)

●水道事業会計補正予算(第1号)

### その他(3件)

●美祢市新本庁舎建築工事の請負契約の一部を変更することについて

●美祢市新本庁舎電気設備工事の請負契約の一部を変更することについて

●美祢市新本庁舎機械設備工事の請負契約の一部を変更することについて

## 議員提出意見書案第1号 防災・減災に資する河川改修を求める意見書

近年、全国各地において、線状降水帯などによる局地的・短時間での豪雨、また、地球温暖化を一因とする強大化した台風の襲来も相まって、自然災害は激甚化、頻発化しており、毎年のように尊い生命と財産が失われる事態にまで及んでいる。

本市では、平成22年7月の豪雨災害において、家屋の滅失や、床上・床下浸水、道路の損壊や橋の流失、JR美祢線の線路盛土の崩壊や鉄道橋の流失など、甚大な被害が発生したが、被災された方々は、今日まで復旧に向けて取り組んでこられたところである。しかし、本年6月30日深夜からの活発化した梅雨前線に伴う豪雨により、市内各所で災害が発生し、その規模、範囲は平成22年を上回り、更に甚大なものとなった。浸水により生活の基盤である居宅から離れることを余儀なくされるなど、再び被災された方も多く、また、衛生センターの浸水による機能停止や浄水場の浸水に伴う断水は、ライフラインの機能不全を招き、被災された方のみならず、市民の生活に支障を来す事態が発生した。

今回の大規模災害、特に、1名が行方不明となっている県道の冠水、JR美祢線や流域家屋の再度の被災は、想定を超える集中豪雨があるものの、大きく蛇行している河川の形状や調整池の機能を果たす部分が少ないことが要因として考えられる。

については、国及び県におかれては、河川を所管する地方自治体と連携し、単なる被災個所の改修にとどまることなく、災害の要因を踏まえた抜本的な河川改修を早急に実施し、防災・減災に取り組まれるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和5年8月2日

国土交通大臣 齊藤鉄夫様  
山口県知事 村岡嗣政様

美祢市議会議長 竹岡昌治

# 令和5年第3回(9月)定例会

会期 9月6日～10月17日(42日間)

第3回定例会は9月6日に開会し、報告1件、企業会計(水道・下水道・病院等・観光事業会計)決算の認定、補正予算など市長提出議案10件について審議しました。

また、9月28日に令和4年度の各会計決算の認定に係る議案等が追加提出されたことから、これらの審議を行うため、会期を10月17日までの19日間延長しました。

議会においては、JR美祢線の復旧対策について幅広く調査を行うことを目的に、JR美祢線災害復旧対策調査特別委員会を設置しました。

議案の審議結果については以下をご覧ください。

## ■第3回(9月)定例会議決結果

●は全会一致で可決(同意)、○は賛成多数で可決(◎は報告のみ)

### 報告(4件)

- ◎放棄した債権の報告について(2件)
- ◎令和4年度の決算に係る健全化判断比率について
- ◎公営企業の令和4年度の決算に係る資金不足比率について

### 条例(3件)(1件)

- 美祢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び美祢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 美祢市火災予防条例の一部改正について
- 美祢市長等の給与に関する条例の一部改正について

### 令和4年度決算(9件)

- 水道事業会計決算

- 下水道事業会計決算
- 病院等事業会計決算
- 観光事業会計決算
- 一般会計決算
- 国民健康保険事業特別会計決算
- 環境衛生事業特別会計決算
- 介護保険事業特別会計決算
- 後期高齢者医療事業特別会計決算

### 令和5年度補正予算(4件)

- 一般会計補正予算(第4号)
- 一般会計補正予算(第5号)
- 介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 下水道事業会計補正予算(第1号)

## 各常任委員会による被害状況視察

総務企業委員会は9月19日に祖父ヶ瀬浄水場及び美祢市浄化センターを、教育民生委員会は9月21日に美祢市衛生センターを視察し、被災した施設の現状を調査しました。

引き続き状況等を把握してまいります。



総務企業委員会



教育民生委員会

## JR 美祿線災害復旧対策調査特別委員会の設置

- 1 設置目的  
豪雨災害により甚大な被害を受け、全線不通となったJR美祿線について、早期完全復旧に向けた調査を行うため、特別委員会を設置する。
- 2 設置委員会の名称  
JR美祿線災害復旧対策調査特別委員会
- 3 委員定数  
議長を除く15名
- 4 調査事項
  - (1) JR美祿線の被災状況及び被災後の対応について
  - (2) 復旧に向けた情報収集、問題、課題の把握及び調査、研究について
  - (3) その他、設置目的のための調査事項について
- 5 調査期間  
本委員会は、閉会中も調査を行うことができることとし、議会において調査終了を議決するまで継続的に設置する。

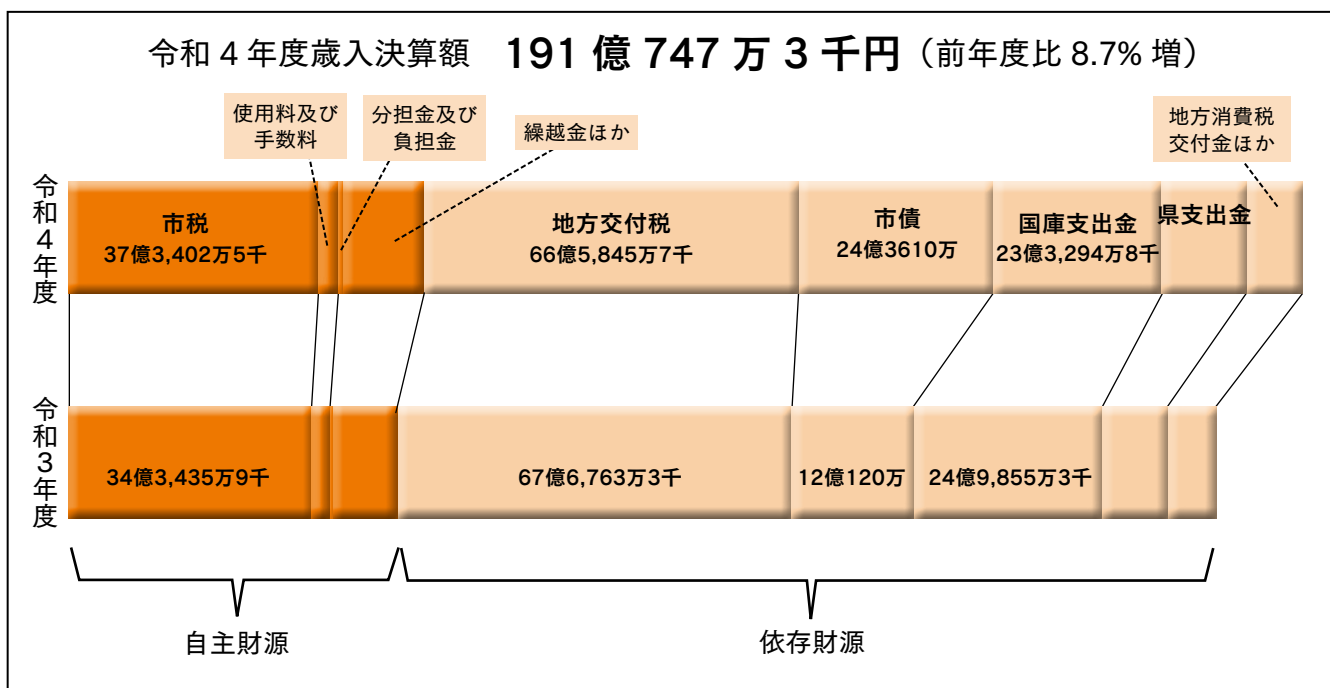
## 令和4年度決算の状況

令和4年度の一般会計決算は、新型コロナウイルス感染症に係る各種対策、エネルギー等の物価高騰対策事業などの補助事業、本庁舎整備事業の建設工事に伴い、歳入歳出ともに前年度より増加しました。

なお、総合支所整備事業、給食センター整備事業及び衛生センター整備事業などに着手していますが、事業のピークは令和5年度以降となるため、決算規模に大きな影響は与えていません。

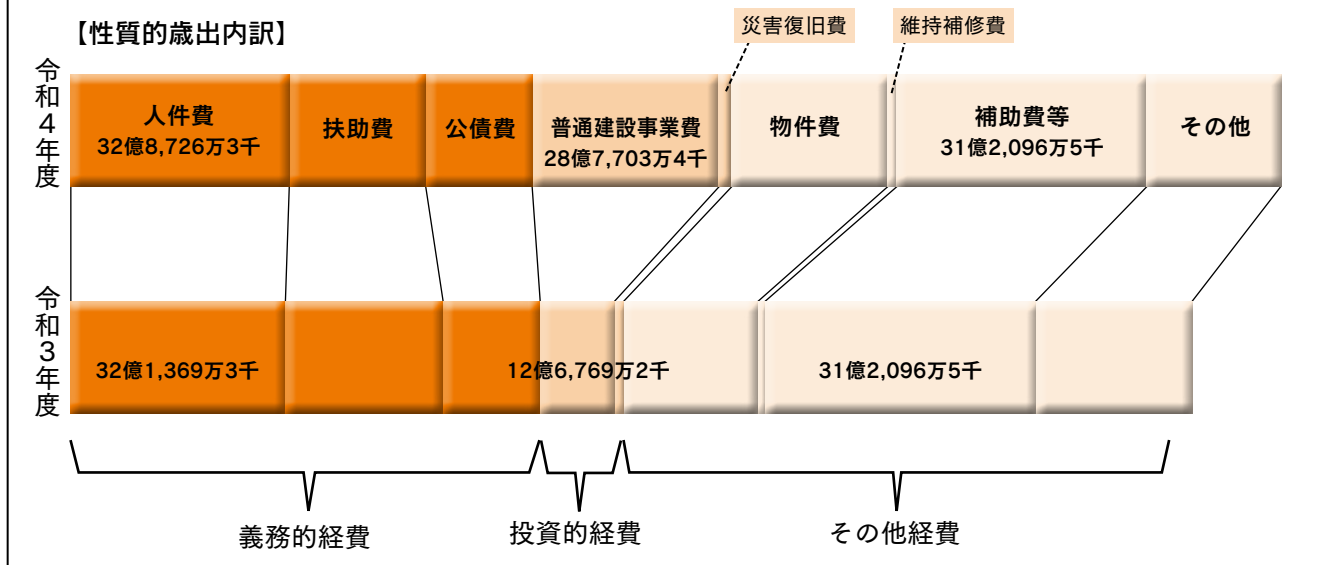
### 一 般 会 計

令和4年度歳入決算額 **191億747万3千円**（前年度比8.7%増）



## 令和4年度歳出決算額 185億363万1千円（前年度比9.6%増）

### 【性質的歳出内訳】



## 歳入の概要

### 【自主財源の増額】市税、使用料及び手数料、繰入金など

#### ○前年度に比べて6億2,809万2千円（12.8%）の増

主には太陽光パネルの設置などによる固定資産税収入の増、事業所得の増額見込みに伴う法人税割額の増など、コロナ禍からの経済活動の回復基調からなる市税収入の増が見受けられるほか、前年度からの繰越金や庁舎等整備基金などからの繰入金による一時的な収入が影響し大きく増加しています。

### 【依存財源の減少】地方交付税、国県支出金、市債など

#### ○前年度に比べて9億784万2千円（7.2%）の減

新型コロナウイルス感染症に対する財源措置が縮小されたことに伴い、国庫支出金や地方特例交付金などの減少がみられた一方、市債は本庁舎整備事業が本格化し、本体の建設工事が実施されたことや、災害時情報伝達手段に係る整備事業を実施したことに伴い、大幅な増となりました。

## 歳出の概要

#### ○前年度に比べて16億1,760万7千円（9.6%）の増

本庁舎整備事業の本体建設工事、災害時情報伝達手段整備事業の実施、総合支所整備事業や給食センター整備事業、衛生センター整備事業の着手、また大雨による農林業施設や土木施設の復旧工事により増となりました。

一方、住民税非課税世帯等臨時特別給付金や子育て世帯等臨時特別給付金などの給付事業の縮小、消防防災センター整備に係る付帯工事の完了、橋梁整備点検補修事業の事業量縮小などにより減となりました。

## 特別会計

（単位：千円）

区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険事業	3,183,123	3,102,779	80,344
環境衛生事業	85,282	85,282	0
介護保険事業	3,313,562	3,182,455	131,107
後期高齢者医療事業	487,267	486,721	546
合計	7,069,234	6,857,237	211,997

※特別会計：特定の事業を行う場合に、特定の収入（保険料など）を財源に、一般会計と区別して管理する会計です。



(無所属)  
すぎやま たけし  
杉山 武志 議員

## 1 部活動の地域移行に係る諸問題について

**問** 部活の地域移行をした際の交通手段について、どのようにお考えかお尋ねします。

**答** 長期休業期間中以外の平日の練習場所は、各学校とすることで関係者との調整を行っています。スクールバスの活用の可能性についても検討しています。

休日の練習場所への移動は、本年10月から小中学生が無料で利用できるあんもないと号等の利用やスクールバスの有効活用を検討しているところです。

**問** この度、10月より公共交通網の見直しにより改正が予定され、高齢者の方々は近隣市町へ100円で移動できることを喜んでおられます。

この見直しはどこに視点を置かれたものか、ご説明ください。

**答** あんもないと号につきましては、運行の効率化を図り市内主要幹線と、美祢市立病院及び美東病院を結ぶ病院間シャトルバスを統合します。

また、温水プールへの乗り入れや、テスト期間中の美祢青嶺高等学校生徒の帰宅対応のため、学校への日中の乗り入れを開始いたします。

また、通学・通勤おすすめ線として、大田中央から湯の口経由で美祢青嶺高等学校へ乗り入れる便を新設し、通学環境の充実を図ってまいります。

さらには、土日の部活動に対応できるよう、嘉万経由・湯の口経由の土日・祝日便を新設いたします。

一方で、運転手不足等により、運行の継続が困難となった路線につきましては、ジオタクや

自家用有償旅客運送である通称ジオバスに転換して運行を継続します。

赤郷地域のデマンド型コミュニティバス「あかまる号」のように、地域が主体となって住民生活に必要な移動手段を確保する取組に対しては、中型免許取得の補助事業を創設するなど、積極的に支援してまいります。

**問** 変更点の湯ノ口方面から美祢駅に至るルートはどこを通過される予定か、またジオバスの運行本数をお伺いします。

**答** この度新設する便は、大田から綾木、真長田方面に向けて出発し、湯ノ口・御坊を経て、山露の交差点を經由し、国道435号線に出て、美祢青嶺高校に乗り入れ、美祢駅に向かう運行ルートとしております。

この度の湯ノ口経由の新設により、美東町南部から市内の高校に通学するための利便性向上と、通学する生徒の増加につなげてまいりたいと考えております。

自家用有償旅客運送「通称ジオバス」の於福線につきましては、美祢市立病院を起点として、竜現寺を經由し、美祢市立病院を終点とするルート、平日6便、土日・祝日は3便運行することとしております。

また、堀越・根越線は、小中学生の通学利用があることから、平日は朝の登校時に1便、下校時2便の3便運行し、ジオタクが運行していない火曜日、木曜日及び土日・祝日は、通学便を含めて、1日7便運行することとしております。





(純政会)  
あきえだ ひでとし  
秋枝 秀稔 議員

## 1 厚狭川豪雨災害の原因と対策について

**問** 厚狭川本流が支流の河川水を満遍なく下流に流していれば水害にならなかったと考えます。災害はいつでも起こるものであり、早い対策が必要ですがお考えをお尋ねします。

**答** 豪雨による激甚化、頻発化が見込まれます。安心安全なまちづくりを図るため、厚狭川の整備、改修等、治水対策を早急に実施していただくよう山口県に改めて強く要望し、市長会においても対策を早急に実施するよう提案しました。

**問** この度の水害は山や農地の荒廃による保水遊水機能の低下も大きな原因です。美祢市に降った雨を厚狭川が早く流して満潮と重なれば下流域も危険になります。13年前の災害以降、厚狭川改修整備を河口から寝太郎堰付近までの約7キロで行われました。美祢市役所までの河川延長が約18キロあり工事にかかなりの時間を要しますが見解をお尋ねします。

**答** 山口県は本市における被災状況から、再度、河川改修の検討を進められているところであり、市も浸水被害の発生箇所の浚渫や部分改修に着手されるよう強く要望しています。

**問** 県に要望するだけでなく地元が積極的に取り組むことが大事と考えます。ゴルフ場等の造成地に調整池がありますが、同様に河川水を一時的に貯水して、洪水調節をする遊水池やダムなども考えられますが、見解をお尋ねします。

**答** 早期にできる浸水被害防止対策を専門的知見を交えながら、山口県と早急に協議します。市のできることは最大限やっていきたいと考えています。

## 2 学校給食センター建設(機械設備)工事落札率100%、及び学校給食センター建設(電気工事)工事落札率99.37%となったことについて

**問** 美祢市学校給食センター建築工事の入札があり、市内3社が応札し落札率が92.51%、機械設備工事は市内1社で落札率100%、電気設備工事も市内1社で落札率99.37%、厨房設備機器は市内5社が応札し、総額約15億円で入札しています。競争入札になってはいますが、1社入札では競争も発生しません。見解をお尋ねします。

**答** 本市が定めている要綱・要領に基づき入札事務を行い、2件の入札で技術者不足等により入札参加者が各々1社となりました。本市は、山口県の取扱いに準じ、入札参加者が1社の場合でも執行を可としています。

**問** 建設や建築工事については、業者の育成、雇用確保等の観点から市内限定が必要と思いますが、入札は状況に応じて変えるべきです。1社では競争にならず、随意契約と同じことです。市外プラント建設業者等と市内業者の共同企業体であれば、技術移転等で大きなメリットがあったと考えますが、見解をお尋ねします。

**答** 今後の大規模工事の発注及び入札については、状況に応じて分離発注、一括発注、それぞれのメリットを引き続き十分比較検討するとともに、競争性に重きを置いた適正な入札の執行に取り組んでまいりたいと考えております。

## 3 上関町の中国電力の中間貯蔵施設調査受入について

**問** 上関町が調査受入れを表明されたが、周辺自治体からは積極的な意見は聞かれていません。同じ県内の首長として、見解をお聞かせください。

**答** 調査・検討を受け入れる考えを表明されたことを報道により承知をしています。田布施、平生の両町長は、政令等で定める事業者防災業務計画の協議先でもあります。私としては、他の自治体が判断されたことでありますので、見解を述べる立場にないと思っております。



(みらい)  
むらた ひろし  
村田 弘司 議員

## 1 自然災害対応について

**問** 6月29日から7月1日にかけての災害により、JR美祢線は河川橋崩落等の甚大な被害を被り、現在は運休状態ですが、復旧再開に向けての市長の決意のほどはいかがかお尋ねします。

**答** 山口県及び沿線2市とタッグを組んで、美祢線復旧、復帰に向け全力を挙げ取り組んでまいりたいと考えています。

**問** 美祢線休止に伴う代行バスは、復旧まで運行する確証をJR西日本から得ているのかお尋ねします。

**答** 代行バスはJR西日本と調整し復旧までの間、運行されると考えています。

**問** 美祢市内の駅の中で唯一、代行バスが駅前に運行停車していない於福駅について、乗客の利便性や安全を考え、改善努力を実施されないかお尋ねします。

**答** 利用者の利便性が確保されるよう、関係機関に調整また働きかけを行っていきたいと考えます。

**問** 於福西寺水神公園についても今回の災害で大きな被害を被り、コロナ禍以前には年間3万人を超える方が来訪される、本市では秋吉台観光に次ぐ集客力を持った施設であります。

今後、大規模な災害が起きうる世界的な気候環境下において、水神公園の管理をどうされていくのか、お伺いします。

**答** 市のシンボルとしての水神公園の景観や魅力を損なわないよう、被害を最小限に収める対策と現状維持の対策両面が必要と考えています。

**問** 於福簡易水道古屋水源の状況について、今回の水害直後から古屋水源の水道水の黄

汚濁が続きました。水源のろ過装置がかなり老朽化しているのも原因と考えますが、対応と対策についてお伺いします。

**答** 安心・安全な水を提供する検証が必要であり、新たな施設の建設や改修、耐用年数の問題もありますので、資料等を確認し、良質の水が届けられるよう対策を取りたいと考えています。

## 2 有害鳥獣被害の現状と対応策について

**問** 令和4年度の有害鳥獣被害額が約1,864万円、捕獲実績が2,639頭という数字ですが、捕獲したもののうち、ジビエ加工化が10%という国の統計数字が出ており、残りの90%を山に埋めています。この埋める場所として自治体の埋設場が設置できないかお伺いします。

**答** 本年度から山口県が日本鹿捕獲支援強化事業を実施され、埋設処理経費等の支援が行われますが、集埋設は対象外となるため、現在のところ個別埋設が望ましいと考えています。

**問** ジビエ推進のための国の実証実験に参加し、ジビエ加工化を推進する考えはあるかお尋ねします。

**答** 本年度は令和4年度にジビエ普及応援対策事業を創設し、今後民間事業者が本補助金を活用したジビエ加工普及を推進したいと考えています。

## 3 道の駅おふく活性化の推進状況について

**問** 6月議会での道の駅おふくの裏手空き地に関わる私の質問に対する市長の前向きな回答をふまえ、その後の市としての対応をお伺いします。

**答** 敷地を拡張し施設の増築を行うことについては、6月議会終了後、農林課と調整を行い、国や県の補助金等財源確保手段の調整を行っております。裏手のフラワーガーデン復活についても道の駅と協議し、準備が進められているところです。





(公明党)

おかやま  
岡山 たかし  
隆 議員

## 1 天然記念物「大岩郷」の魅力発信への課題に関して

**問** 6月に議会報告会が、伊佐町堀越コミュニティセンターで開催された際に、地元の堀越地域住民の方から大岩郷の岩塊が雑木で覆いかぶさり、30年前から比べると30%近く見えなくなっているとの意見がありました。

雑木伐採の計画を立て、以前の魅力ある大岩郷にすることが求められますが、所見をお伺いします。

**答** これまで地域の皆様のご協力をいただきながら、環境整備に努めてまいりました。

しかしながら、周辺樹木の繁茂や、岩の間からの生育などにより、駐車場から見える大岩郷の範囲が狭まってきています。

来年度以降、景観を回復し、魅力的な万倉の大岩郷となるよう、周辺樹木の伐採作業を実施してまいります。

**問** 先日、大岩郷の駐車場に大型バスが到着し、40名近くの方が観光散策されておりました。その観光客の方が、「トイレはあるけれど自動販売機がないのは問題がある」と言っておられました。

自動販売機の常設など、観光客へのおもてなしに対してのお考えをお伺いします。

**答** コロナ禍以前の令和元年は年間7,000人の観光客が訪れ、特に春から秋の観光シーズンに多い状況でありますので、熱中症対策の観点からも、飲料水等を確保することが望ましいと考えます。

観光地としての魅力を向上させる取組の協議の中で、自動販売機の設置について検討したい

と考えています。

## 2 豪雨災害からのリスク削減への課題と改善対策に関して

**問** この度の豪雨災害の結果、家屋の被害は全壊3棟、半壊以上56棟、床上浸水198棟、床下浸水197棟、いまだ経験したことのない被害状況となりました。

伊佐川2級河川や厚狭川2級河川は、様々な問題点を抱えています。いずれにしても、これらの2級河川敷における、土砂・雑木等を取り除く浚渫を実施することが重要ですが所見をお伺いします。

**答** 厚狭川の外水氾濫、伊佐川の内水氾濫により浸水被害が発生しました。

山口県知事に対して、整備改修等、治水対策を早急に実施していただくよう強く要請しました。

山口県宇部土木建築事務所と情報共有して、継続的かつ計画的に浚渫を行ってまいります。

**問** 山口県宇部土木建築事務所に6年前から伊佐川2級河川の土砂・雑木等、撤去への要望書を提出しました。その結果、3年前からUBE三菱(株)伊佐セメント工場付近から宇部マテリアルズ(株)伊佐工場、北川地域までの土砂・雑木が撤去されました。

この度、伊佐川丸山河川の越水まで50cm、越水したら多くの被害が発生していたと思われる。

今後、丸山・権坊地域並びに厚狭川までの合流地点まで、土砂・雑木等の撤去についてお伺いします。

**答** 温水プール周辺と北川合流部におけるバックウォーター現象による内水氾濫が起きています。

山口県宇部土木建築事務所と情報共有し、河川の土砂・雑木等の撤去工事を、可能な限り実施していただくよう働きかけます。

また、専門家に水害のメカニズムなどをお尋ねし、実効性ある対策を検討してまいります。



(日本共産党)  
みよし むつこ 議員

## 1 子育て施策の充実について

**問** 保育園児の主食となるお米の無償化について、現在、市内の公立、私立保育園及び認定こども園は、副食費が無償化されていますが、お米についても無償化できないかお尋ねします。

**答** 主食費を無償化する場合、まず、本市における主食費相当額を決定する必要があります。市内各園の実情を調査し、市内の公立保育園、私立保育園及び認定こども園での主食の取扱いを調整する必要があります。各園の給食提供の方針がある中、早急な対応は、現時点では困難と考えています。国の動向等を注視して判断したいと考えています。

**問** 保育園児の使用済み紙おむつの取扱いについて、厚労省は保護者が持ち帰るのではなく、保育所で処分することを推奨しています。

保護者が持ち帰るのではなく、各園で処理ができないかお尋ねします。

**答** 現在、公立保育園6園中、4園は保育園で処分しており、2園は保護者が持ち帰っています。保育園で処分するには、園内で一時保管するおむつ回収容器の設置、及び収集用のごみステーションの設置が必要です。設置場所等について関係者と協議を行い進めたいと考えています。

**問** 合併してから15年経過後も、学校給食の提供日がまちまちです。現状についてお尋ねします。

**答** 2学期の始業式の日は、厚保、大嶺、嘉万学校給食共同調理場の配送校は、給食を提供しています。伊佐、大田、秋吉学校給食共同調理場の配送校は、給食を提供していない状況です。

**問** 給食提供日の違う理由と今後についてお尋ねします。

**答** 理由として、長期休業明けの子どもたちの体調面等の負担、学校生活のリズムを整える、また教職員の事務処理時間の確保等を考慮し、授業時程を学校側が判断で決めています。今後は統一の可能性を含め検討したいと考えています。

## 2 インボイス制度の対応について

**問** インボイスとは、仕入税額控除の仕組みですが、税務署に登録した課税事業者しか発行できません。仕入税額控除を受けようとするには、課税事業者になるしかありません。課税事業者になると、赤字経営でも、身銭を切って、消費税を納めるようになります。免税事業者のままの場合、取引から排除、消費税の納税額が増える、取引先からは値引きを強要されることなどが懸念されます。こうなると、仕事がなくなって営業ができなくなることも考えられます。零細事業者、小規模農家など、広範な人々に負担が強いられることになります。市としての対応についてお尋ねします。

**答** インボイス制度は、登録の要否にかかわらず、影響が生じると言われています。制度導入後の支援については、国の動向を十分に注視しながら、対応を判断したいと考えています。

**問** インボイス制度は、シルバー人材センターで働く会員も影響を受けます。会員は、配分金という形で賃金が支払われていますが、この中には消費税が含まれています。制度が導入されると、会員は、消費税課税事業者になりますのでインボイスを登録して、シルバー人材センターに提出しなければなりません。インボイスの登録がないとシルバー人材センターは、仕入税額控除が受けられなくなります。

厚労省は、シルバー人材センターの運営について消費税増税分が高齢者の負担とならないように、発注の自治体に対して適正な価格設定を要請しています。市の対応についてお尋ねします。

**答** シルバー人材センターには、毎年、公共施設の環境整備や維持管理等、可能な限り業務発注を行っています。あわせて運営を支援するために補助金を支出しています。



(みらい)  
ふじい としみち  
藤井 敏通 議員

## 1 魅力ある学校づくりについて

**問** 美祢市魅力ある学校づくり検討委員会をなぜ今この時期に立ち上げたのか、その背景、目的、どのようなやり方でこの委員会を運営しようとしているかお尋ねします。

**答** 本市では令和4年度から小中一貫教育を実施していますが、保護者や地域の皆様から一層の充実を求める声が届いています。また第二次小中学校適正規模・適正配置基本方針計画期間が令和6年度までとなっており、次期方針の策定に向けた議論が必要となっています。このような中で総合教育会議が開催され、魅力ある学校づくりを検討するために外部の諮問機関で検討してはどうかとの市長提案を受けてこの時期に立ち上げたものです。

これからの未来を生きていく子どもたちにどのような資質・能力をつけさせたいかを明確にしたうえで一人ひとりの子どもたちのかけがえない個性が尊重され、一人ひとりの子どもたちが幸せを感じる学校を創造してまいりたいと考えています。

検討委員会の構成は、山口大学教育学部長、山口県立大学社会福祉学部長、慶應義塾大学環境情報学部准教授、小中学校校長会長、市内2つの高等学校の校長、PTA、幼稚園、保育所及び未就学児保護者の代表と公募による市民5名です。

今後のスケジュールは、第1回目の検討会を10月中には開催し、合計8回程度検討会を開催し、来年10月末までに提言をまとめ、次年度以降の施策に反映してまいりたいと考えています。

## 2 美祢市における林業施策について

**問** 森林環境譲与税の活用状況と今後の活用策についてお尋ねします。

**答** 本市では令和4年度に6千800万円強の譲与を受けています。主な用途は、第1に森林の整備及び整備に関する人材育成、担い手の確保、第2に木材利用の促進や普及啓発等の森林の整備の促進に関する施策に充てることとされています。

森林環境の整備を行う事業では、民有林のうち市の管理に委ねたいとされた森林は、市で直接間伐などの森林整備事業を進めることとしており、令和5年度は秋芳町岩永下郷地区で19haの間伐を実施する予定です。また、木材の利用促進のため木質バイオマスの地域内利用を進めており、具体的にはトロン温泉でバイオマスボイラーを導入することにしています。

**問** 民有林の整備にしても木質バイオマスの地域内利用にしてもこの施策を実施していく大前提は、地籍調査で所有者、面積等を明確にすることが必要です。地籍調査のスピードアップはできないでしょうか。

**答** 山村部では、土地所有者の高齢化、不在地主の増加、森林の管理不足等により現地立会や測量作業が困難になってきている状況です。法改正により高精度な空中写真、航空レーザー等が活用できる環境が整いつつありますが、本市としては状況を注視してまいりたいと考えています。

**問** 地籍調査の早期実施を要望するだけではなく、住民としてやれる事(事前の境界確認、杭打ち作業、刈り払い作業等)を積極的に行うことで優先的に調査していただくことは可能でしょうか。

**答** 調査区の選定に当たりましては、実施済み地域に肉付けをするような形で調査を進めています。いろいろな地域から要望をいただいておりますが、事前に準備等を進めているので是非にということであれば、調査が円滑に進むのではないかと1つの判断材料にはなるかと思っております。まずは、地籍調査室のほうにお尋ねいただければご相談に応じます。



(無所属)

おかむら  
岡村たかし  
隆 議員

## 1 豪雨災害への対応及び対策について

**問** 市内の河川では多くの草木が茂り、流れが阻害されることでさらに土砂が堆積しています。河川断面積を減少させると同時に流速を遅くし、河川の能力を十分発揮できていないと思われる。浚渫等の管理が追い付かない現在、河川維持の草刈り等の必要性、重要性について市が情報発信されてみてはいかがでしょうか。

**答** 以前は、地域において川の葦の除去なども実施されていましたが高齢化等によりやめられた地域も多いと思います。樹木の伐採、葦の除去による通水能力の確保と環境保全を目的とした仕組みづくりは必要であると考えており、検討させていただきます。今後も引き続きイベントなどを活用し河川維持の必要性、河川氾濫の仕組みなどの情報提供に努めてまいります。

**問** 内水氾濫に備えて、吉則下には山下ポンプ場に水中ポンプが設置されており、自動操作で厚狭川に排水を行うよう対策が取られていますが、今回の大雨では、河川水位が堤防高を上回ったため残念ながら多くの家屋に被害が出ています。ポンプがすでに設置されている箇所については、河川水位の低下が有効と思われるが、美祿市地方卸売市場跡周辺や歴史民俗資料館後方の商業施設周辺などポンプ場が設置されておらず被害を受けたところへの今後の対応についてお尋ねします。

**答** 河川の浚渫や雑木・葦の除去により流下能力を高め、増水時の河川水位を低下させることが、氾濫を未然に防止する効果が高いことから、山口県宇部土木建築事務所と情報共有し、可能な限り河川の浚渫工事を実施して

いただくよう、継続して働きかけてまいります。

また、逆流防止のフラップゲートを設置するなど、山口県と連携した浸水被害防止対策に今後とも取り組んでまいります。

**問** 伊佐地区においては以前より桜山方面からの雨水が被害を増加させているように思われますが、今後の対策についてお尋ねします。

**答** 山口県宇部土木建築事務所と情報共有しながら、可能な限りの河川の浚渫工事を実施していただくよう強く働きかけるとともに、逆流防止のフラップゲートを設置するなど、浸水被害防止対策に取り組んでまいります。災害に強いまちづくりを進めていくため都市計画道路の整備と併せて、専門家の意見を踏まえた伊佐地区の雨水・排水対策を講じてまいります。

**問** 今回の大雨により厚狭川沿いの桜並木にも被害が出ておりますが今後の対応をお尋ねします。

**答** 厚狭川の水位が異常に上昇し、川面に垂れ下がっている枝に多くのごみが付着しており、枝が折れるなど景観を著しく害している状況となっております。この状況につきましては、樹木医に確認していただき、維持管理について、助言・指導を受けておりますので、この診断に沿った河川管理作業を行ってまいります。

**問** 大きな被害を受けた麦川小学校の復旧予定についてお尋ねします。

**答** グラウンドについては、年内のできるだけ早い復旧を見込んでおりますが、プール施設については、ポンプ類の調達の関係で、年度内の復旧を予定をしております。被災した「良い子の橋」につきましては市道であります。国の災害査定の結果を踏まえ、山口県の河川整備計画に沿った復旧となるよう検討しているところであり、山口県河川課と協議しながら進めてまいりたいと考えております。





(純政会)  
やまなか よしこ  
山中 佳子 議員

1

## 豪雨災害の被害状況から見る問題点と公と民が一体となった防災組織づくりについて

**問** このたびの豪雨災害の農林業への被害状況と原因についてお尋ねします。

**答** 水路の排水が間に合わず、越水するなどの状況が多発し、また流出した土砂による水路等の閉塞などが原因により、農業用施設が被害を受けています。

**問** 市民への災害時の情報伝達手段として導入された戸別受信機、スマホの防災行政アプリは今回十分機能したのでしょうか。

**答** 戸別受信機と屋外スピーカーはシステムに入力した言語をAIの言葉で発信するため聞きづらいという意見もあります。しかし戸別受信機は声が大きいのによく聞こえたとか、被災者支援の情報が得られて良かったという声もあり、一定の成果があったものと思っています。

**問** 自助、公助に限界がある中、共助の部分で、公と民が一体となった防災組織が必要になってくると思いますが、いかがでしょうか。

**答** 災害発生直後は公助が行き届かない現実がありますので、地域住民が自主的に決定する自主防災組織の結成が求められているところです。

**問** この防災組織ができればぜひ地域の消防団員の方にお力添えいただきたいと思いますが、市長の見解をお尋ねします。

**答** これまでの災害時においても市消防本部は避難誘導や避難支援及び安否確認などの活動も実施しており、消防団の組織力、即時対応力、地域密着性を考慮すると、市消防本部との連携、協力は今後ますます重要になると考えています。

**問** 高齢者の避難に際しては、何より人命優先が第一で、一人暮らしの方、介護を受け

ている方の情報が速やかに開示されることが必要であると思いますが、いかがでしょうか。

**答** 災害対策基本法では、市町村長は必要な情報を避難支援者に提供できることとなっています。

市民福祉部福祉課に連絡をいただければ、手配いたします。

2

## 豪雨災害に伴う送水トラブルについて

**問** 今回の豪雨災害で断水に遭われた地域では給水車による水の配給が行なわれていますが、問題点と今後の対策についてお尋ねします。

**答** 祖父ヶ瀬浄水場の被災により、美祢地域の広範囲が長期間断水となり市民の皆様にご心配とご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

今後諸課題については整理検証し、効果的な応急給水活動が万全となるように体制の構築に努めたいと考えています。

**問** 来年4月以降、今回トラブルのあった祖父ヶ瀬浄水場から秋芳南部地域まで配水管が延長されますが、災害による被害が広範囲に広がる可能性についてお尋ねします。

**答** 現在進めています上野・秋吉地区水道統合整備事業の完了後は、祖父ヶ瀬浄水場から硬度を低減化した水を送水する予定となっています。

今後今まで以上に、施設の waters 防止対策を徹底し、さらに送水ポンプの予備を確保するなど、危機管理意識を強く持ち、さまざまな事案に対処できるように努めてまいります。

3

## 老朽化の著しい公民館の今後について

**問** 嘉万公民館はトイレも古くて狭く、雨漏り、エアコンの故障等いろいろな問題があり修繕費用はかなりのものになると思います。今後についてお尋ねします。

**答** 嘉万公民館は昭和50年に建設され48年経過し、年々不具合の箇所が増えていきます。活動の主体となる地域の皆さんの意見を聞きながら今後の施設整備のあり方を検討してまいります。



(新政会)  
あらかやま みつひろ  
荒山 光広 議員

## 1 豪雨による被害状況と今後について

**問** 今回の豪雨による被害状況と、氾濫した厚狭川を所管する山口県に対して、どのような要望をされたのかお尋ねします。

**答** 6月29日から7月1日にかけて活発化した梅雨前線の影響により降り始めからの総雨量は東厚保で386ミリを観測し、市内に甚大な被害をもたらしました。

このたびの甚大な被害を受けた、流域住民の皆さんの不安を払拭し、安全・安心なまちづくりを進めるため、厚狭川の整備・改修等、治水対策を早急に実施していただくよう、山口県知事に対し強く要望しました。また、山口県市長会においても、早急に浚渫を行っていただくことと併せて、抜本的な河川改修について早期の実施を要望しました。

**問** 祖父ヶ瀬浄水場の概要と今回の被害状況についてお尋ねします。

**答** 祖父ヶ瀬浄水場は、昭和34年5月に供用開始し、その後の施設統合等により、現在では於福町下の一部や東厚保町川東地区へも区域を拡張しています。

祖父ヶ瀬浄水場では、第1水源から地下水をくみ上げ硬度低減化処理及び塩素滅菌処理を行い、第1配水池と第2配水池を経由して、旧上水道地区の各給水区域へ配水しており、令和4年度末の給水人口は1万96人、1日平均配水量は4,327 $\text{m}^3$ です。来年4月には、上野秋吉地区水道統合整備事業の完了に伴い、上野地区及び秋吉地区も給水区域に加わります。

このたびは、厚狭川の氾濫により河川水がポンプ室に侵入し、設置してある送水ポンプ4基が水没したため、送水ポンプの機能が停止し、

第1配水池、第2配水池をはじめ、各地区の配水池へ送水することができなくなり、配水池の水が枯渇した区域から断水となる状況が、広範囲かつ長期間続きました。

**問** 当面の対策と今後の計画をお尋ねします。

**答** 今後の対応については、高圧受電盤等の電気設備の保護、浸水対策、そして送水ポンプ室内へ河川水が侵入した場合の排水対策、さらに不足の事態に備え、送水ポンプ等の予備機を確保することを予定しています。

祖父ヶ瀬浄水場は、市全体の給水人口、給水量の約半分を担う基幹的施設です。供用開始後約60年が経過をして老朽化が顕著であることから、水道ビジョンで定めた事業計画に基づく施設の更新等を実施し、継続的に安全・安心で良質な水の安定的な供給に努めてまいります。

**問** 衛生センターの被害状況と現在の処理状況、合わせて復旧の見通しについてお尋ねします。

**答** 施設への浸水があり、床上1m以下の設備、特に制御盤などの電気設備の被害が甚大で、運転不能となり施設の機能が停止しています。

現在は、下関市、長門市、萩市、宇部市、山陽小野田市、美祢市の6市で締結している環境行政広域連携協定に基づき、萩市、山陽小野田市において7月4日から処理を行っていただいております。下関市については搬出に向けて調整中です。

また、本市のし尿及び浄化槽汚泥の1日当たりの要処理量は約48 $\text{m}^3$ であり、支援可能処理量が40 $\text{m}^3$ とこれに不足しているため、山口県央連携都市圏域形成に係る連携協約に基づき、山口市に支援要請を行い7月18日から処理を行っていただいております。

衛生センターの今後については、災害復旧による完全復旧は実施せず、施設の基幹的設備改良工事を計画どおり実施することとし、令和7年4月からの再開に向け取り組んでいます。

## 台湾地質公園学会が表敬訪問

8月17日(木)～21日(月)まで台湾地質公園学会の皆さんが山口県を訪問されました。18日(金)には美祢市を表敬訪問され、Mine秋吉台ジオパークとの意見交換会や別府弁天池など視察を行われました。

表敬訪問の際には、竹岡議長及び村田議員(美祢市議会日台友好促進議員連盟会長)から記念品を贈呈し、また夕方からは歓迎会が開催され議員も参加し、交流を深めました。美祢市議会としても、引き続き台湾との交流促進を図ってまいります。



表敬訪問



歓迎会

## 新庁舎等建設特別委員会

9月25日(月)に新庁舎等建設特別委員会を開催し、各総合支所の整備に向けたスケジュールや施設平面図等の確認を行いました。

また、当日は完成した新本庁舎を見学しました。

新庁舎は、11月6日から開庁となりました。



新本庁舎見学

## 山口県市議会議長会議員研修会

8月4日(金)に第24回山口県市議会議長会議員研修会が下松市議会主催でオンライン開催されました。

東北大学大学院の河村先生から「議員のなり手不足と地方議会改革」をテーマとした講演を受講しました。

今後も研修会等に積極的に参加し、議員個々の研鑽に努めてまいります。



研修会の様子

## 藤山 浩氏による地域づくりセミナーの開催

8月31日(木)に一般社団法人 持続可能な地域社会研究所所長である藤山 浩氏を講師に迎え、地域づくりセミナーが開催されました。

本市の喫緊の課題である人口減少や少子高齢化に向き合い、将来に向けた持続可能な地域社会を構築していくために、どのように取り組んでいくのか、様々な分析データの解説、それに基づく取組方法、その他地域の事例等を説明されました。



研修会の様子



市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。

(11月22日(水)議会運営委員会において日程を決定します)

日程	時間	内容(予定)
11月29日(水)	10:00	本会議(初日)
12月5日(火)	10:00	本会議(一般質問)
12月6日(水)	10:00	本会議(一般質問)
12月7日(木)	10:00	本会議(一般質問)
12月11日(月)	9:30	総務企業委員会
12月12日(火)	9:30	教育民生委員会
12月13日(水)	10:00	予算決算委員会
〃	終了後	新庁舎等建設特別委員会
〃	終了後	JR美祢線災害復旧対策調査特別委員会
12月20日(水)	10:00	本会議(最終日)

### 編集後記

この1年を振り返ると、激動の美祢市だったように思います。

6月29日からの豪雨が民家を襲い、太陽光パネルの上を走る濁流・美祢線架橋の落下、猛暑、季節を問わないインフルエンザの流行、ロシアのウクライナ侵攻や円安のあおりで物価高騰、世界の激動が市民生活に重くのしかかる、1年でした。

新本庁舎が完成しました。あと1か月で新年を迎えます。来年も美祢市議会の様子を「議会だより」を通じて市民の皆さんにお知らせ出来たらいいと思っています。(三好)

### 議会だより編集委員会

委員長	三好	睦子
副委員長	山中	佳子
委員	藤井	敏通
〃	岡村	隆
〃	田原	義寛
〃	山下	安憲
〃	石井	和幸